

京土会「学生・若手会員研修助成基金」報告書

1. 申請者情報

申請年度・回：令和七年度 第一回

氏名：小野 陽一朗

所属・学年：工学部地球工学科土木コース・学部三年生

渡航先：インドネシア ジャカルタ

2. 活動報告

申請者は令和7年8月25日から9月4日まで清水建設の海外プロジェクト「ジャカルタMRT南北線2期工事 CP202工区」のインターンシップに参加した。ジャカルタMRTはインドネシア初の地下鉄を含む都市高速鉄道であり、この事業により交通渋滞や排気による大気汚染が深刻化するインドネシアの都市交通の改善が期待されている。研修先は清水・アディカリヤJVが設計施工を行う202工区であり、駅舎およびシールドトンネルの工事が行われていた。工事の特徴としてトンネル掘削は泥土圧式シールドマシン2台が使用されており、設計においては全面的にBIMが活用されており、海外現場での先端的な設計システムを体験した。研修先の工区では地下工事の付近に主要道路、運河、歴史的建造物、商業施設が存在するため地下空間が限定されることを考慮しプラットホームが上下に収容される4階構造の駅舎設計がされていることも注目すべき点である。設計・施工現場の見学および設計業務課題、コンクリート工場、セグメント工場、隣接工区の見学、開通区間の試乗、建築現場の視察などを通し本プロジェクトだけでなく土木事業全体への理解を深める経験を積み、最終日には業務成果のプレゼンテーションを行った。業務時間以外にも清水建設の社員の方々にインドネシアの風土や文化を理解する助けとして様々なお話を聞いていただいた。様々な現場で多くの技術に触れ、文化を尊重して土木に向き合っている社員の方々の今日の仕事が未来の遺産になる過程を体感し、技術者となるために日々知見を養ってゆきたいと感じた。

3. おわりに

このたび海外研修にご助成いただいた京都大学土木会に深い感謝の意を表します。

